

別添

名二環（名古屋南 JCT～高針 JCT） ・国道302号 開通3ヶ月後の交通状況

<目次>

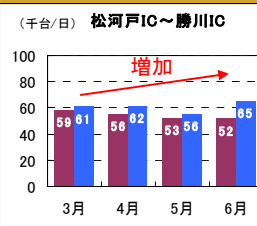
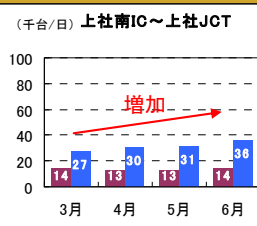
・高速道路の交通量1
・一般道路の速度変化2
・救急活動現場の声3
・沿線地域住民の声4
・高速道路の混雑緩和5
・中部国際空港利用者の声6

高速道路の交通量

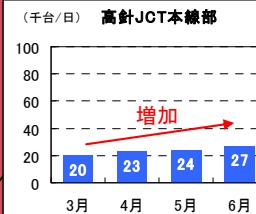
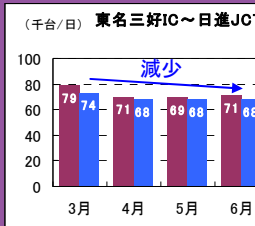
開通3ヶ月後

- 名二環(名古屋南JCT～高針JCT)の交通量は増加しています。
- 開通3ヵ月後の交通量は、約14,000～27,000台/日であり、開通直後と比べ約2～4割増加しています。
- 今回開通区間と並行する名古屋高速3号大高線においては、開通3ヵ月後の交通量が約6,000～10,000台/日減少しています。

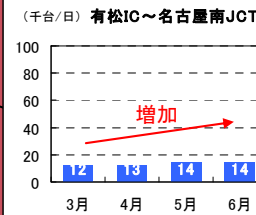
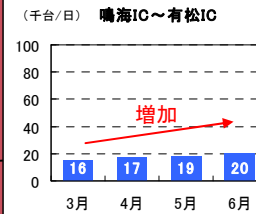
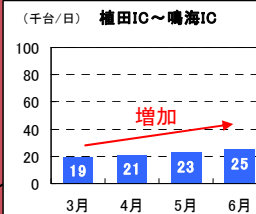
名古屋第二環状自動車道



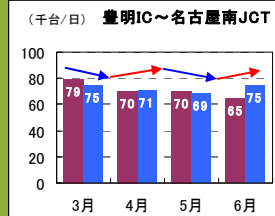
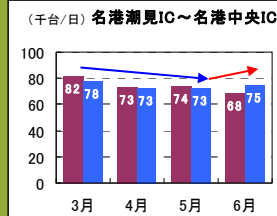
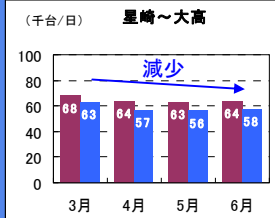
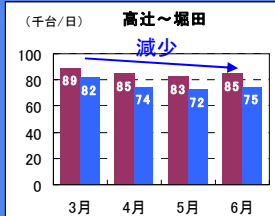
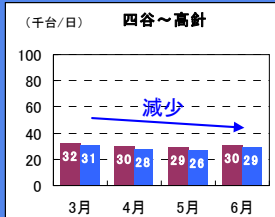
東名高速道路



名古屋第二環状自動車道(今回開通区間)



名古屋高速道路(2号東山線 3号大高線)



伊勢湾岸自動車道

名二環開通前：平成22年3月21日(日)～平成22年6月20日(日)までの交通量を用いて集計
 名二環開通後：平成23年3月21日(月)～平成23年6月20日(月)までの交通量を用いて集計
 ※名二環・東名高速・伊勢湾岸は中日本高速道路データ 調査時間帯(0:00～24:00)
 ※名古屋高速は名古屋高速道路公社データ 調査時間帯(7:00～7:00)

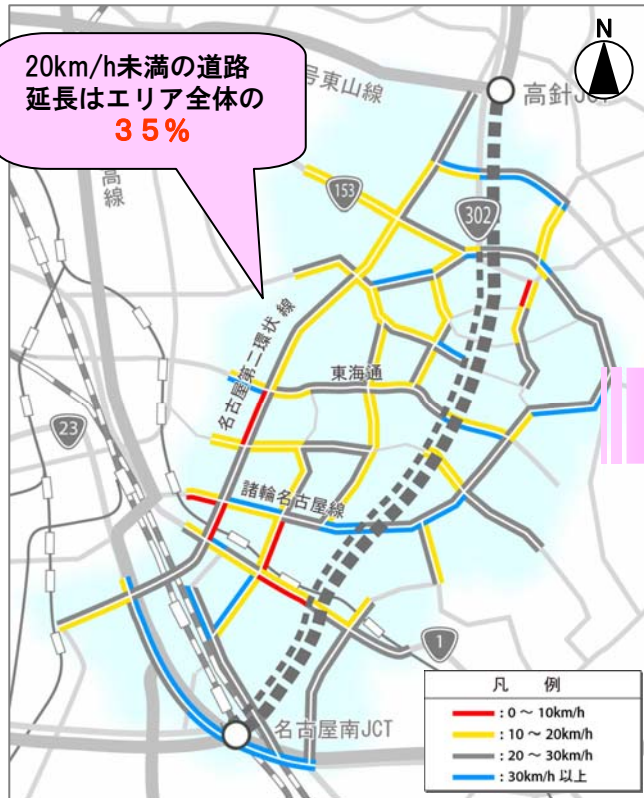
※東日本大震災の影響を受け、全体的に交通需要が落ち込んでいる可能性があるため、今後も引き続きデータの収集を進めます。

一般道路の速度変化

開通3ヶ月後

●周辺一般道路の混雑が緩和し、主要路線における朝ピーク時の走行速度が平均で15%向上しました。

■開通前の平均走行速度（平日朝8:00台）



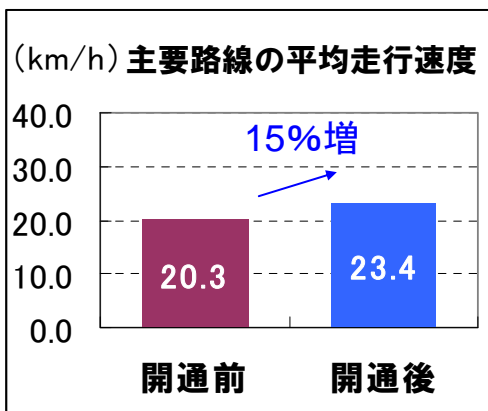
■開通後の平均走行速度（平日朝8:00台）



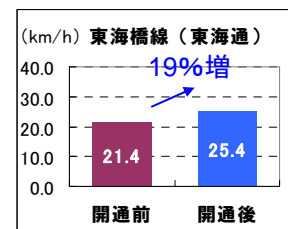
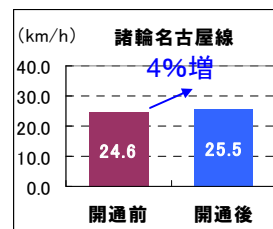
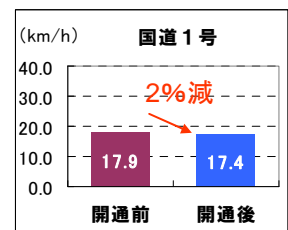
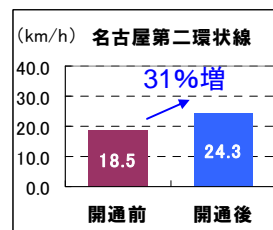
※開通前と開通後の1時間（8:00台）平均走行速度から算出
 開通前：2010/4/1～2010/4/30の平日平均
 開通後：2011/4/1～2011/4/30の平日平均

※分析対象路線
 緑区・天白区周辺（背景着色エリア）の民間プローブデータが取得できている主要な道路を対象

■主要路線の平均走行速度の変化（平日朝8:00台）



路線毎の内訳



※主要路線の平均走行速度は上り下りの平均値
 ※主要路線は名古屋第二環状線、国道1号、諸輪名古屋線、東海橋線の4路線としている

救急活動現場の声

開通3ヶ月後

- 現場到着時間、病院搬送時間の短縮に貢献しています。
- 救急隊員から国道302号の利便性を評価していただいています。

緑消防署・天白消防署の救急隊員に聞きました。

交通量が少ない時間帯において国道302号沿道に出動する際は、国道302号を利用します。**現場到着時間が短くなったことを実感**しています。

2車線の区間は日中混雑するため、**早く4車線化して欲しい**です。(天白消防署)

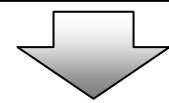
国道302号は消防署から近いためよく利用しています。特に時間短縮を感じたのは大高地区、桶狭間地区です。桶狭間地区に向う際は、**4~5分程度は時間短縮**したと思います。徳重地区に向う際も**現場までの経路の選択枝が増えた**ので、状況によって県道(諸輪名古屋線)と国道302号を使い分けています。(緑消防署)



■国道302号を利用した救急医療活動実績



- ### 救急隊員が感じた 国道302号のメリット
- ・他の道路と比べて段差が少ない
⇒**傷病者への負担が小さい**
 - ・他の道路と比べて信号交差点が少ない
⇒**信号交差点で安全確認する回数が減少**
 - ・開通により救急搬送経路の選択枝が増えた
⇒**搬送の障害となる交通渋滞や工事区間を避けることが可能**



国道302号の利便性を評価!!

より迅速、より安全な救急搬送が可能に!!

→ 従来利用ルート → 国道302号ルート ● 消防署(救急車配備) ● 実際に現場到着時間が短縮した事例がみられた地域、救急隊員が現場到着時間の短縮を実感した地域

※現場到着時間、病院搬送時間は実績値(天白消防署へのヒアリング結果)
 現場到着時間：開通前1年間において6回、開通後3ヶ月間において1回の実績値
 病院搬送時間：開通前1年間において2回、開通後3ヶ月間において2回の実績値

沿線地域住民の声

開通3ヶ月後

- 利用者の7割の方が『新しい道路を利用することで時間短縮ができた』と実感していただいています。
- 一方で新たな渋滞発生、早期4車線化への要望意見もいただいています。
- 沿線地域住民の日常生活に変化が出ています。

国道302号沿線地域（天白区・緑区在住）の方に聞きました。

■国道302号及び名二環の開通以降、あなたの生活はどのように変わりましたか？

■日常生活のゆとりを創出（日々の行動に余裕、日々の活動の効率化）

- ・目的地までの所要時間が短縮し、かつ所要時間が読めるようになったので、**余裕をもった行動ができる**ようになりました。（緑区 40代 男性）
- ・緑区内の移動に時間がかからなくなり、**1回の外出で行けるお店の数が増え**ました。（緑区 30代 女性）
- ・仕事で緑区内を車で移動することが多いのですが、国道302号ができて周辺の渋滞が緩和し、**仕事の効率が良くなり**ました。（緑区 60代 男性）



■余暇活動の活性化に貢献（外出機会の増加、行動範囲の拡大）

- ・名二環のICが近くにできたので**知多半島の実家に帰る回数が増え**ました。一人暮らししている母親に孫を頻繁に会わせられるようになりました。（天白区 30代 女性）
- ・以前は天白区内や天白区以西に出かけることが多かったのですが、**緑区への外出も増え、行動の選択肢が広が**りました。（天白区 20代 男性）
- ・以前はあまり行くことのなかった**天白区のお店に行く回数が増え**ました。（緑区 30代 女性）



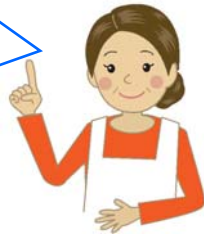
※インターネットによるアンケート調査により、国道302号及び名二環の開通による生活の変化をお聞きました。
 ・緑区、天白区に在住し、週1回以上国道302号もしくは名二環を利用しているインターネットモニター207名に対してアンケート調査を実施（緑区134名、天白区73名）
 ・アンケート実施時期は平成23年6月下旬

■国道302号及び名二環（今回開通区間）を利用しましたか？

■どのような効果を実感しましたか？ また、要望等がありますか？

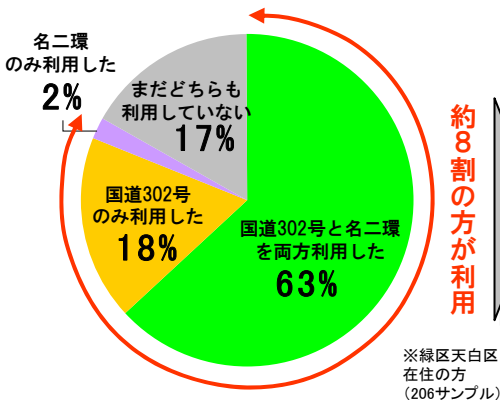
■開通効果に関する意見

- ・目的地までの移動時間が短縮し、外出しやすくなりました。（天白区 40代 女性）
- ・高速道路のインターが近くになり、非常に便利になりました。（緑区 30代 女性）
- ・交通の流れがよくなり、以前より混雑が減った気がします。（天白区 30代 男性）



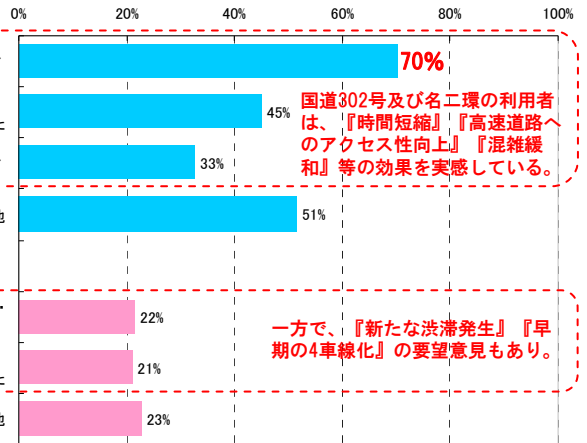
■要望意見

- ・2車線の区間がボトルネックとなり、いつも混雑しているように思います。**早く4車線化してほしい**です。（天白区 20代 男性）
- ・周辺道路はすきましたが、**交差する道路は今まで以上に混雑している**ように感じます。（緑区 30代 女性）



開通効果

要望意見



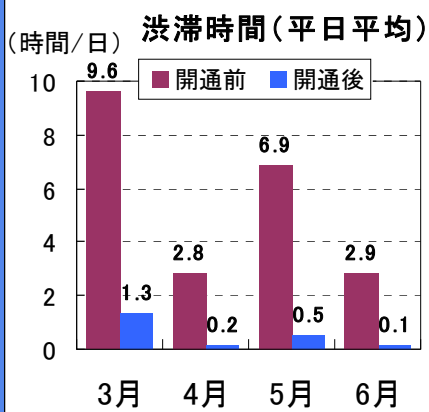
※インターネットによるアンケート調査により、国道302号及び名二環の利用状況、利用した感想をお聞きました。
 ・緑区、天白区に在住し、週1回以上自動車を利用しているインターネットモニター206名に対してアンケート調査を実施（緑区103名、天白区103名）
 ・効果の実感、要望意見については、国道302号もしくは名二環を利用した171名を対象に集計を行った。
 ・アンケート実施時期は平成23年5月下旬

高速道路の混雑緩和

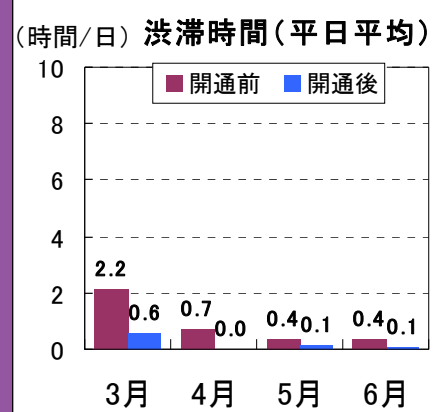
開通3ヶ月後

- 名二環と並行する東名高速道路(名古屋IC～豊田JCT)及び名古屋高速3号大高線では1日当たりの延べ渋滞時間が減少しています。
- 周辺高速道路の混雑が緩和し、ピーク時の平均走行速度が5km/h～10km/h向上しました。

名古屋高速道路 (3号大高線)

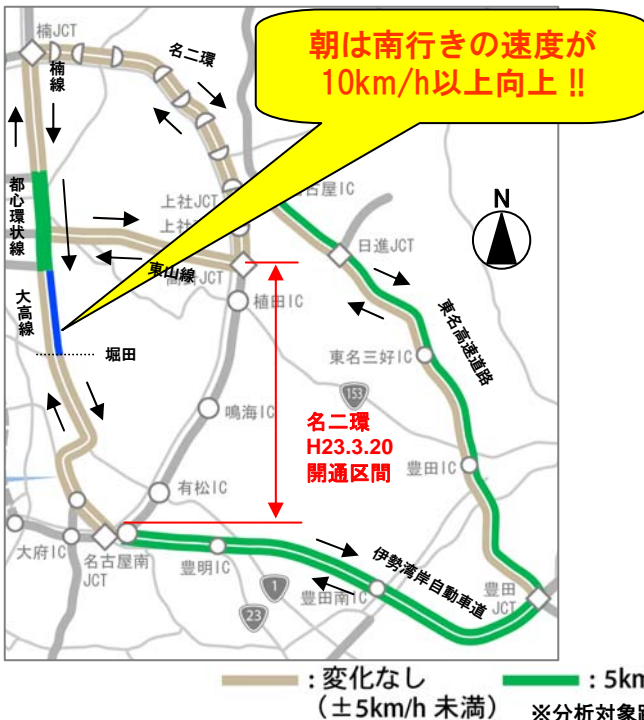


東名高速道路 (名古屋IC～豊田JCT)



開通前:2010/3/21～2010/6/20までの各月の平日平均渋滞時間
 開通後:2011/3/21～2011/6/20までの各月の平日平均渋滞時間
 ※渋滞時間は上り下り合計の平均値
 ※東名高速は中日本高速道路データ 調査時間帯(0:00～24:00)、名古屋高速は名古屋高速道路公社データ 調査時間帯(7:00～7:00)

■平日朝 (7:00～9:00) の平均走行速度の変化



■平日夕 (17:00～19:00) の平均走行速度の変化



※名二環の開通前と開通後の平均走行速度から算出
 開通前: 2010/4/1～2010/4/30の平日平均
 開通後: 2011/4/1～2011/4/30の平日平均
 朝は7:00～9:00、夕は17:00～19:00の時間帯で平均

※分析対象路線

- 名古屋高速1号楠線
 - 名古屋高速2号東山線
 - 名古屋高速3号大高線
 - 名古屋高速都心環状線
 - 名二環 (楠JCT～上社JCT)
 - 東名高速道路 (名古屋IC～豊田JCT)
 - 伊勢湾岸自動車道 (豊田JCT～名古屋南JCT)
- 名古屋高速道路公社データ
 中日本高速道路データ

中部国際空港利用者の声

開通3ヶ月後

●中部国際空港までのアクセス時間の短縮を実感していただいています。

中部国際空港の利用者に聞きました。

■空港タクシー運転手の声

日進や尾張旭から送迎する場合に名二環を利用した実績があります。以前は名高速の東山線・大高線を利用して知多半島道路に向かっていましたが、**名二環を利用した際は所要時間が15~20分程度短縮**したと感じました。

名二環及び国道302号ができたことで**中部国際空港までのルートの選択肢が増えた**ことは良いことだと思います。



■一般利用者の声（住民アンケート結果）

大高線もある程度は便利でしたが、名二環の方が自宅からの乗り入れが便利で、**20分程早く中部国際空港へ到着**できる様になりました。（緑区在住 40代 男性）

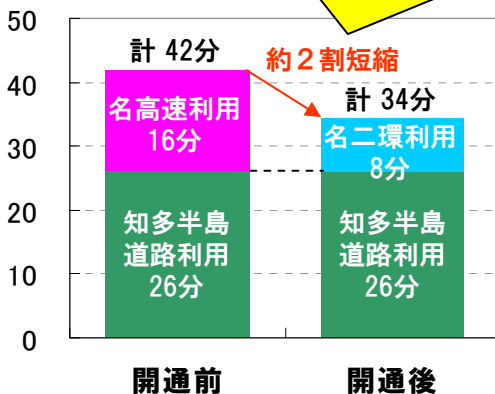
以前は名古屋高速の高針JCTから都心部を大回りしないと大高方面に行けず、そのため車線変更が大変でしたが、名二環ができて直線で行けるようになりました。**時間短縮とともに車線変更の回数が少なくなったため、精神的にも楽**になりました。

（天白区在住 30代 男性）



データから見た開通前後のアクセス時間の比較

中部国際空港までアクセス時間が約2割短縮!!



※高針JCTを起点にして所要時間を算出

名高速の所要時間（開通前）

2010/4/1~4/30の平日7時台の平均速度をもとに算出
※名古屋高速道路公社データ

名二環の所要時間（開通後）

2011/4/1~4/30の平日7時台の平均速度をもとに算出
※中日本高速道路データ

知多半島道路の所要時間（開通前後）

2011/4/1~4/30の平日7時台の平均速度をもとに算出
※民間プローブデータ



— : 開通前ルート — : 開通後ルート — : 開通前後共通ルート